

大和市 小林 米幸

人はたまたま外傷があった 同様に外国人の電話相談を 護が大切であり、診療拒否

ではどのようなにしたら正 は、テレビのゴールデンタ

(医師 42歳)

ため、東京都内の二つの大 行っている民間二団体やエ やキャリアの社会からの疎

しい知識が普及するのであ イムに政府広報を繰り返し

私たちが運営している国

学病院と都立病院の担当科 イスの専門家らに呼びか 外、さらに感染のまんえん

ろろか。私は以前、スリラ 放送することが最も効率か

際医療情報センターで、昨

医師にHIVキャリアであ け、HIVキャリアからの などエイズという疾患に対

ンカを訪れた際、「口腔 良いのではないか。

年受けた外国人からの電話、

ることを告げ

いま各地でエイズに関す

医事相談千百九件の中に

て受け入れを

るシンポジウムが行われ、

も、数件ではあるがHIV

要請したがす

予防のため、パンフレットが作成配布さ

キャリア(エイズウイルス

べて拒否された。この相談 相談に対する対応、受け入

する知識の欠落に起因する ビンロウジュの実をかむの

陽性者)に関する相談があ

者は二週間後、治療を受け

れルートの確立などの善後 諸問題の解決は、正しい知

り、私たちも深刻に受け止

るのをあきらめて出国して

識を国民の中に強力に、早 報をテレビで幾度も見た。

めている。

行った。

策について会合を開いた。

そして患者の治療にはプ 急に普及させることから始

キャリアと名乗るうち一

これを契機に昨年九月、

ライバシーを含む人権の保

まると認識した。 い知識を持ってもらうに 省にも責任の一端がある。

# 正しい知識の普及はT.Vで